

さいしょ  
最初のクレジット(※49)

みぞぐち けんじ かんとく いちかわらいぞう しゆえん しんへい けものがたり さつえい  
溝口健二監督が市川雷蔵主演『新平家物語』を撮影してい  
るとき、はやさかふみお びょうじょう はやさか ことわ つづ  
るとき、早坂文雄の病状が悪化して、早坂は仕事を断り続け  
ていました。

みぞぐち かんとく わか さとう くん  
ところが、溝口監督から「あの若い佐藤君にやらせてはど  
うか。」話がありました。はやさか きんちょう  
早坂に「やってみろ」といわれ緊張  
でコチコチになりましたが、むちゆう  
夢中で曲を作りました。



※49 クレジット

えいが しゆつえんしゃ ひょうじ  
映画やテレビ番組などにおいて、出演者、スタッフ、などの名前を表示  
するものである。

この映画が封切られて、映画の画面の最後のクレジットに  
「音楽 早坂文雄 小さく 佐藤勝」と名が出たときは嬉し  
かったですし、やっと一人前になれたと思いました。

この映画やデビュー作『三太と千代ノ山』をやり終えたこと  
から、徐々に作曲の仕事が入るようになりました。

この年、早坂文雄夫妻の媒酌(※50)で、高橋千恵子と明治  
記念館で結婚式を挙げ、文京区音羽で新生活を始めることが  
できました。

※50 媒酌

結婚の仲立ちをすること。





おとわ ちえこふじん  
音羽の家の庭で千恵子夫人と